

1. 調査概要

1. 1 調査目的

我が国の障害者スポーツ関連施設の現状を明らかにし、障害者スポーツの普及、振興状況を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

1. 2 調査対象

全国の障害者スポーツ専用施設、または障害者が優先的に利用できるスポーツ施設を対象とした。

1. 3 調査方法及び回収結果

【調査 1】質問紙調査

(1) 調査方法

記名式の質問紙調査

回答は、郵送、電子メールで受け付けた。

(2) 調査内容

- ◆ 設置および管理状況について
名称、設置年、設置種別、設置者、管理運営状況、指定管理者など
- ◆ 付帯設備設置状況について
付帯施設の新設・変更・廃止など
- ◆ 利用者数について
2010年度、2011年度の総利用者数、障害者の利用者数、障害別の利用者数など
- ◆ 指導者について
有給・有償のスポーツ指導者数、有資格者の有無、有資格者人数など
- ◆ 実施事業について
年間実施事業、障害者スポーツ指導者に関する養成講習会、研修会など
- ◆ 運営について
リハビリテーションセンター・障害者スポーツ協会との関係など

(3) 調査期間

2012年12月5日～2013年1月31日

【調査 2】事例調査(ヒアリング調査)

(1) 調査方法

地域における障害者専用・優先スポーツ施設の実態を明らかにするために、以下の 3 施設の担当者に対して聞き取り調査を実施した。

①東京都障害者総合スポーツセンター

初心者からアスリート、軽度障害者から重度障害者まで、さまざまなニーズにあった支援プログラムを専門家と連携しながら実施している障害者専用のスポーツ施設である。

②障害者スポーツ文化センター(横浜ラポール)

スポーツを通して、障害者の QOL 向上とノーマライゼーション社会の実現を図るため、リハビリテーション的観点から、障害者に自立した活動を促し、社会参加機会の増加を創出している。

③北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」

民間フィットネス施設を障害者スポーツ施設に改装し、健常者向けのプログラムも提供。利用者の満足度を確保しながら、収益性を高めるモデルを目指している。

(2) 調査内容

施設概要(設置者、指定管理者)、施設の特長、運営状況(実施事業、体制、運営費、利用者数、利用料金)など

(3) 調査期間

2012 年 8 月～2012 年 11 月